

中国科学技術大学等との共同研究

理学系研究科物理学専攻 博士2年 辻直希

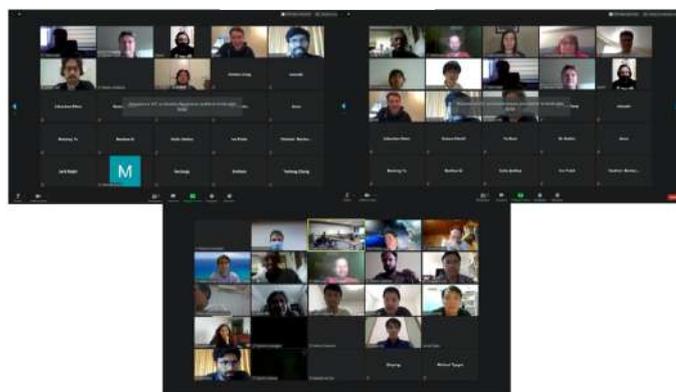
私は2020年4月から2020年9月までの6ヶ月間、Jianbei Liu氏受け入れの元、中国科学技術大学及び中国科学院効能物理研究所とリモートで共同研究を行いました。また、その研究成果をIJCLab Orsay 及びMPP Munich 主催のCALICE Collaboration Meeting(オンライン開催)にて口頭発表しました。

共同研究では、オンライン会議やメールにて密に連携し開発を進めました。活発な議論の中で多くの学びが得られ、非常に有意義な経験となりました。その結果、試作機の完成という大きな成果が得られました。学会では、カロリメータ開発グループの研究者が世界中から集まり、互いの研究について議論を交わしました。研究へのアドバイスを頂くとともに、Sc-ECAL以外の検出器やILC全体の進展についても拝聴しました。

新型コロナウイルスによる難しい状況の中受け入れてくださった Jianbei Liu 教授を始めとする中国の研究機関の皆様、準備・運営を行って頂いた学会主催者の皆様、迅速かつ柔軟な対応により支援していただいた ALPS 事務局及び大学関係者の皆様に感謝申し上げます。



完成した試作機



CALICE Collaboration Meetingの様子